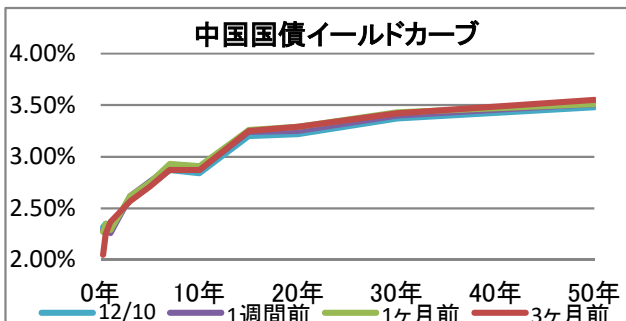
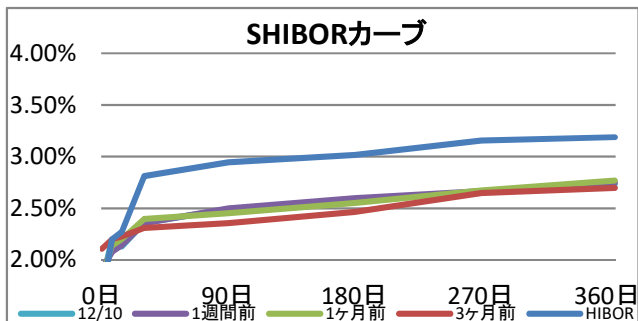


## ①市場概況

基準レート		2021/12/10	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.3702	-0.0036
	JPY/CNY	5.5983	-0.0388
SHIBOR	3M	2.4920%	-0.0070%
国債利回り	10年	2.84%	-0.03%
上海総合指数		3,666.35	+58.92



### (1) 概況

国際金融市場では、オミクロン株感染拡大への過度の懸念後退によりリスクオンとなって、株式市場が上伸し、債券が下落（利回り上昇）する展開となった。中国の不動産大手企業のデフォルトも冷静に受け止められている。

中国金融市場では、年末を控えて不動産大手のデフォルトによる混乱が懸念される中、中国人民銀行が前週の李首相の預金準備率引き下げへの言及に即座に対応する格好で週初に預金準備率引き下げ（12/15実施）を発表し、農業と小企業支援の再貸出金利の引き下げも実施しており、不動産市場安定化対応効果や国外からの資金流入も手伝い安定を維持している。外為市場では年末の外貨売り要因と投資資金流入による元高により節目と考えられていた対ドルでの6.35を割り込んだものの、中国人民銀行が6月に続く外貨預金準備率引き上げを決めると6.37程度まで元安方向に戻している。

中国では、米政府が北京オリンピックへの外交的ボイコットを表明し、民主主義サミットを開催し、米議会がウイグル自治区からの物品輸入を原則禁止するウイグル強制労働防止法を可決する中、2022年の経済政策を策定する中央経済工作会議を開催。中央経済工作会議では、経済環境を冷静に評価し、積極的な財政政策と安定的な金融政策を堅持する姿勢を確認し、公平な競争環境を保障し、不動産市場を含む国民経済の循環を発展の原動力として生活水準を維持する社会政策を実施する方針を示している。また、易中国人民銀行総裁は香港の国際金融センターとしての発展を支持し、香港の中国本土市場と国際市場を結ぶ橋頭保としての機能への期待を表明している。

### (2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日2,300億元に対し、金融システム内の資金は十分として新規のリバースオペにより500億元の資金供給を実施し、1,800億元を吸収している。ただし、中国人民銀行は預金準備率の0.5%引き下げ（12/15）を決め、その効果を1.2兆元を市場に還元し、金融機関の年間コストを150億元引き下げるとしている。

### (3) 主な経済指標

・PPI (11月) は、前年比+12.9% (10月+13.5%) と5ヶ月ぶりに前月を下回る伸びとなったものの、依然高水準であることに加え、購買価格水準が在庫価格水準を上回る状況が続き、両者の差は拡大している。

・CPI (11月) は、前年比+2.3% (10月+1.5%) と前年の反動や食品価格の上昇を主因に2ヶ月連続で前月を上回る伸びとなっているものの、前月比の伸びは鈍化している。

## ②資金市場

### (1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.8070%	1.8000%	1.8200%	
1W	2.1840%	4.0000%	1.8000%	
2W	2.1320%	2.0500%	1.4500%	
1M	2.3600%	2.6831%	2.9000%	2.5200%
3M	2.4920%	4.2000%	5.0000%	2.5100%
6M	2.5870%	2.7878%		2.6000%
9M	2.6570%	3.1000%		2.6600%
12M	2.7360%	2.9360%		2.6850%

中国人民銀行は週初に12/15からの預金準備率引き下げを決めたこともあってオペによる資金供給は限定的となったが、年末越え資金調達への懸念後退により市場は安定している。ターム物は1ヶ月の2.6%前後での出合いを除き限定的。

NCDも、預金準備率引き下げや追加の金融緩和への期待もあって長めの期間を中心に活発に取引されている。ターム物の金利水準は、1ヶ月と3ヶ月が2.50%前後、6ヶ月が2.60%前後、1年が2.65%~2.70%で落ちている。

### (2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.03%	0.04%
1W	0.04%	0.05%
1M	0.12%	0.15%
3M	0.30%	0.35%
6M	0.40%	0.45%
12M	0.45%	0.50%

年末要因や金融引き締め早期化懸念に加え外貨預金準備率の引き上げにより金利水準は上昇。ターム物の金利水準は、1ヶ月が0.15%前後、3ヶ月は0.35%前後、6ヶ月は0.45%前後まで上昇している。

### ③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.32%	2.34%	2.50%	2.63%	2.94%
6M	2.35%	2.37%	2.58%	2.67%	2.98%
1Y	2.28%	2.38%	2.69%	2.71%	3.02%
3Y	2.60%	2.77%	2.91%	3.01%	3.83%
5Y	2.72%	2.97%	3.22%	3.34%	4.29%
10Y	2.84%	3.24%	3.50%	3.71%	4.67%

債券市場では、中国人民銀行の預金準備率引き下げ発表により買戻し（利回り低下）の動きが強まる中、年末のポジション調整等も入ってやや交錯気味となったものの、国外資金の流入が続き、足下資金需給も改善しており、買いしっかりの展開。

イールドカーブは、総じて利回りが低下しているものの、不動産大手企業のデフォルトやポジション調整により区々の動きとなっている。

### ④先物為替市場

	USD / CNY
1W	26.7 / 26.7
1M	171.0 / 172.0
3M	447.9 / 449.9
6M	841.0 / 841.9
9M	1220.0 / 1224.9
12M	1591.0 / 1594.4

対ドル基準レートは6.3702と前週末比-36pipsのドル安元高、対円基準レートは5.5983と同-388pipsの円安元高と、元高傾向が続いている。国内市場では、年末に向けた企業の外貨売りと国外投資家からの資金流入が続いて一時節目の6.35を下回る3年ぶりの元高になったものの、その後中国人民銀行が6月に続き今年2回目となる外貨預金準備率の引上げを決めたことを当局の元高懸念と受け止め元高は一服している。

先物は、外貨預金準備率の引き上げ効果による金利差縮小懸念から、1年物が約4ヶ月ぶりに1600台を下回る水準まで縮小している。

### ⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.30%		2.11%
6M	2.28%	2.50%	2.09%
9M	2.29%	2.51%	2.12%
1Y	2.30%	2.55%	2.14%
3Y	2.48%	2.84%	2.33%
5Y	2.68%	3.10%	
7Y	2.81%	3.26%	
10Y	2.96%	3.42%	

スワップ金利は、債券利回りが低下に転じたことから短期から長期まで概ね平行に低下している。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも、前週からの縮小の流れを維持している。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。